

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	22 安心、安全にくらせるまちづくり～街路整備による通学路の安全確保～（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	山梨県												
計画の目標	街路整備により幅員3m以上の歩道を両側に整備することにより通勤、通学、高齢者が安全・安心に利用できる道路環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,940	A	5,940	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	通学路交通安全プログラムに位置付けられた交通安全対策が必要な通学路における交通事故件数を街路整備により50%減少させる。 交通事故・道路総合データベースにより対象事業箇所の過去4年間の交通事故件数を算出する。	H27 53件		H34 26件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	山梨県	直接	山梨県	S街路	改築	(都)滝坂下今井線(期)	現道拡幅 L=363m	甲斐市						300	-	
	A01-002	街路	一般	山梨県	直接	山梨県	S街路	改築	(都)太田町蓬沢線ほか2路線	現道拡幅 L=263m	甲府市						2,670	-	
	A01-003	街路	一般	山梨県	直接	山梨県	S街路	改築	(都)塩の山西広門田線(期)	現道拡幅 L=310m	甲州市						200	-	
	A01-004	街路	一般	山梨県	直接	山梨県	S街路	改築	(都)山梨市駅南線外1路線(期)	現道拡幅 L=720m	山梨市						2,100	-	
	A01-005	街路	一般	山梨県	直接	山梨県	S街路	改築	(都)山梨市駅南線(期)	現道拡幅 L=600m	山梨市						600	-	
	A01-006	街路	一般	山梨県	直接	山梨県	S街路	改築	(都)滝坂下今井線(期)	現道拡幅 L=200m	甲斐市						70	-	
												小計						5,940	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
山梨県独自に評価を実施	交付期間終了後
	公表の方法
	山梨県ホームページ内 (https://www.pref.yamanashi.jp/kendosom/syakaishiho/nseibisougoukoufukin.html)
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	整備の完了に伴い、事故件数は53件から28件へと減少する状況となっている。 整備中路線もあるため、引き続き整備を進めていくことで早期に整備効果を発現できるように事業を進捗させる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)	(都) 滝坂下今井線 (期) と (都) 塩の山西広門田線 (期) の整備が完了し、歩行者の安全性が確保された。 また、幹線道路の整備により、道路ネットワークの強化や車両の分散及び走行性が向上した。
特記事項 (今後の方針等)	
整備中の路線については、個別補助金に移行して事業継続中であるため、引き続き事業を実施し早期完成を目指す。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	26件	通学路交通安全プログラムに位置付けられた交通安全対策が必要な通学路における交通事故件数 整備完了した路線では交通事故件数が減少したが、対象路線の一部が用地取得や関係機関協議の難航に伴い事業が完了していないため、最終目標値を達成できなかった。
	最終実績値	28件	